

2021.11.12

InterRisk Thai Report <2021 No.07>

タイにおけるコロナ禍の火災事例

【要旨】

- コロナ禍で工場の減産が進められる中でも火災は発生しています。
- タイにおける 2020 年の火災による被害額は、2019 年をおよそ 1.8 倍上回っています。
- 火災事故の 70%が従業員のいない時間帯に発生しています。

新型コロナウイルスのパンデミックによる影響は、2019 年の年末から現在に至るまで、世界各地で拡大し続けています。このコロナ禍において、多くの工場が一時的な生産停止や減産を余儀なくされていますが、火災による被害は発生し続けています。当ニュースでは、コロナ禍でのタイにおける火災統計データと火災事故事例を紹介します。

1. 火災統計データ

タイの災害防止・軽減局の統計データによると、2020 年の火災事故件数は 1,248 件であり、2019 年の 1,312 件を下回っていますが、火災による被害額は 2019 年の 1,400 万ドルに対して 2020 年は 2,500 万ドルと 2019 年の被害額の約 1.8 倍に上っています。

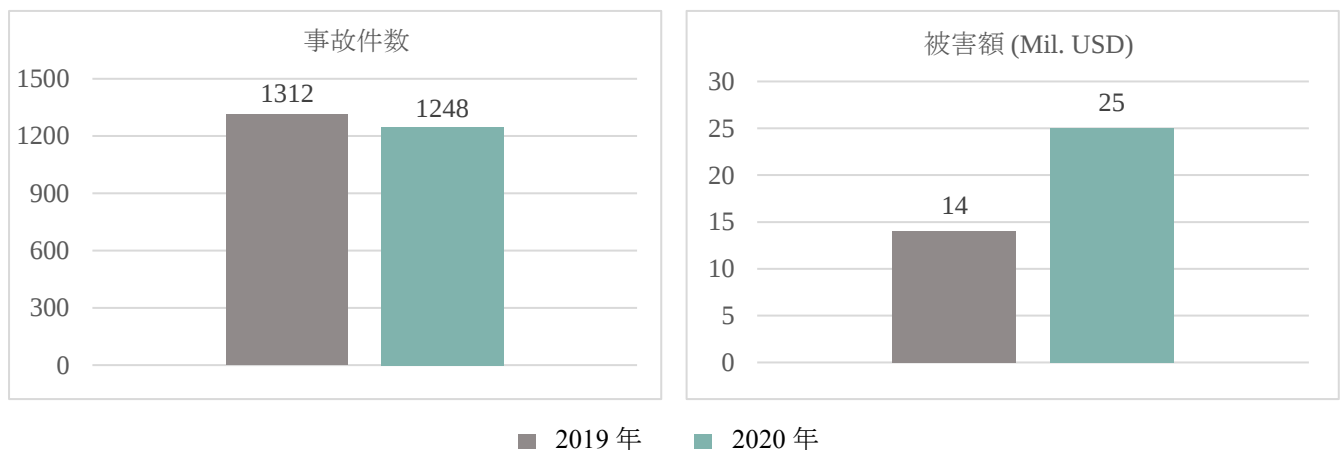


図 1：火災事故件数と被害額（2019 年、2020 年）

生産業で発生する火災は被害が大きくなる傾向にあり、過去に発生した火災では 1 件当たりの被害額が 30 万ドル（1,000 万バーツ）を超えています。タイ工業省・工場局の統計データによれば、金属製造工場、倉庫、プラスチック製造工場、製紙工場、ゴム製品製造工場などを中心に、2018 年に 42 件、2019 年に 46 件の火災が発生しています。

また、保険セクターの統計データによると、火災事故の 70%が従業員のいない時間帯に発生しています。コロナ禍においては、工場で勤務する従業員数を縮小するケースもあり、十分な防火パトロールができず、火災への対応が遅れて甚大な被害に発展するおそれがあると言えます。

2. 火災事故事例

2019年、2020年にタイで発生した主な火災事故事例を以下にまとめます。

事故例 1：パルプ倉庫の火災

2019年9月23日20:00時頃、チョンブリ県のパルプ倉庫で火災が発生しました。倉庫には3,000トンのパルプが保管されていたため、火災は倉庫全域に広がり、屋根も焼け落ちました。消火活動には高圧の水が使用され、ショベルカーによるパルプの除去、爆発防止のためシリンダーの撤去なども行われました。火災は、発生から18時間後に消防車30台の消火活動によって鎮火しました。警察の調べによれば、原因はタバコと推察されており、吸い殻の火がパルプに引火して火災が発生したものとみられています。この火災事故による被害額は、およそ180万ドル（6,000万バーツ）です。



<https://www.newtv.co.th/news/65461>

事故例 2：家具工場の火災

2020年9月30日22:00時頃、ラヨーン県の Amata City Pluak Daeng 工業団地の家具工場で火災が発生しました。工場内には多くの木材が保管されていたため、火災は急速に拡大し、消火には3時間以上を要しました。工場の従業員によれば、火災は冷温水供給装置で発生し、紙箱やその他の可燃物に燃え移ったとのこと。火災の原因は、冷温水供給装置の短絡とみられています。この火災事故による被害額は、およそ200万ドル（7,000万バーツ）です。



<https://hilight.kapook.com/view/206946>

事故例 3：化学品倉庫の火災



<https://www.siamsafety.com/index.php?page=news/news0312>

この火災事故による被害額は、およそ30万ドル（1,000万バーツ）です。

2020年12月2日23:20頃、化学品倉庫で火災が発生しました。保管されていた主な化学品は硫化水素ナトリウムで、食品保存料、製紙、漂白、石鹼などに使われています。大量に保管されていたことから爆発が連続して発生し、水では消火できなかったため、泡消火剤が使用されました。鎮火には、消防車10台による2時間以上の消火活動を要しました。工場所有者への調査によれば、金属製の化学品タンクを移動する際に発生したスパークが火災の原因とみられています。この

3. 火災事故の教訓

ご紹介した3件の火災事故では大きな被害が発生しています。これらの火災は、従業員がいない、または少なくなる時間帯に、小さなスパークから大規模な火災に発展しています。火災を防止するためには、電気設備の点検、危険物の安全な運搬・保管、作業エリアの整理整頓、消火設備のメンテナンスなど、従業員の目が行き届かない箇所に対する定期的な安全監査、パトロールが重要です。

参照

<http://statbbi.nso.go.th/staticreport/page/sector/th/.21.aspx>
http://direct.disaster.go.th/inner.directing-7.191/cms/inner_1733/5025.3/
<https://www.mreport.co.th/news/government-news/333-accident-in-factory-thailand-2020>
<http://reg.3diw.go.th/safety/wp-content/uploads//05/2021accident-.2563pdf>
http://www.rtrc.in.th/ewt_dl.php?nid=1588
<https://tna.mcot.net/region-545159>
<https://mgronline.com/local/detail/9630000097279>
<https://www.newtv.co.th/news/65461>
<https://www.thairath.co.th/news/local/east/1942951>
<https://highlight.kapook.com/view/206946>
<https://thaiza.com/news/local/481742/>
https://www.siamsafety.com/index.php?page=news/news03122020_2
<https://www.thairath.co.th/news/local/central/1988616>

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立された MS&AD インシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等における火災リスク調査や洪水リスク評価、ならびに交通リスク、サイバーリスク等に関する各種リスクコンサルティングサービスを提供しております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.

175 Sathorn City Tower, South Sathorn Road, Thungmahamek, Sathorn, Bangkok 10120, Thailand

TEL: +66-(0)-2679-5276

FAX: +66-(0)-2679-5278

<https://www.interriskthai.co.th/>

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。
また、本誌は、読者の方々に対して企業の CSR 活動等に役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

不許複製／Copyright MS&AD インターリスク総研株式会社 2021